

## 輝け アスリート 第2回 森本詞織さんと度会中学校

新企画の「輝け アスリート」。少し間が空いてしまいましたが、第二回目は全日本中学陸上女子走幅跳で二年生ながら第6位に入賞を果たした森本詞織さんと彼女の所属する度会中学校にスポットを当てました。

森本さんは小学生時代に内城田スポーツクラブに入り、陸上競技の楽しさと出会いました。内城田スポーツ

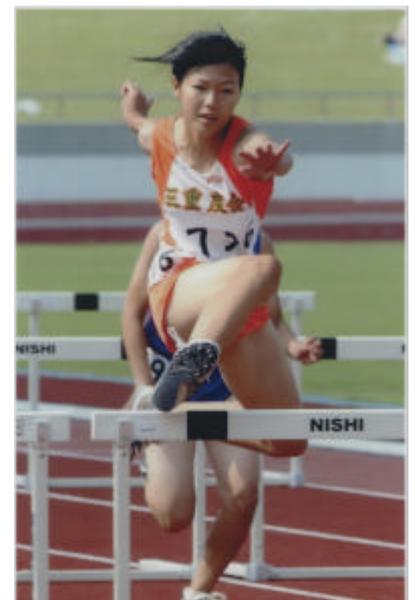


クラブは舟瀬勝さん(写真左)、森本和義さん(写真右)らを中心に設立されたクラブチームで小学生大会では毎年数多くのすばらしい選手を輩出しています。森本さんもその一人で6年生の時に全国小学生大会で入賞を果たしました。森本さんの魅力は天性のバネとスピードですが、最大の魅力は明るい人柄でしょう。陸上競技を楽しく取り組む姿の陰には内城田スポーツクラブの指導者の姿勢を感じ取ることができます。伸び伸びと育てる方針が森本さんをすくすくと成長させてきた大きな要因となっています。この方針は度会中学校でもしっ



かりと受け継がれています。度会中学の指導者は福井清先生。福井先生は前任校の小俣中学でも現在、上野工高で活躍している高林祐介君を育てるなどたくさんの選手を育てています。

この夏、度会中学校は男女アベックでリレーの全国大会出場を果たしました。森本さんの全国入賞も含めたこの大躍進は内城田スポーツクラブから度会中学校へのスムーズな移行にあることは間違いありません。一つの理想的な形を作り上げてくれた内城田スポーツクラブと度会中学校のこれからのますますの活躍を祈念いたします。



しかし、このパターンは度会中学の場合にとどまらず、いち早く小学生クラブに着目した三重県の陸上競技の競技力向上の基盤になっています。小学生時代に基礎体力づくりや陸上競技に対する興味付けをきちんとしてくれるからこそ、中学校でのびのびと陸上競技に取り組むことができるのだと思います。小学生のクラブチームの指導者の役割はとても大切であり、一層の充実が必要不可欠となるでしょう。クラブチームの指導者の皆様、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

平成11年度の全国高校総体(北上)で入賞を果たした高校生の多くは小学生時代にクラブチームに所属し、陸上競技に出会い、その楽しさを知りました。高校の先生方もさらにクラブチームの存在に注目して、今回、内城田スポーツクラブから度会中学へのバトンパスを見事に成功したように、各地で小学校から中学へ、中学から高校へ、高校からさらに上に、つなげていっていただきたいと思います。